

# 点群データの計測 実施手順例

## (Scaniverse編)

### はじめに

まずは、基本的な使い方を覚えましょう。

本アプリは、LiDAR非搭載のモバイル端末でも利用できますが、本書では、LiDAR搭載のモバイル端末での実施手順について説明します。本書は、2023年2月時点のアプリのバージョンでの説明となります。※バージョンにより画面構成やコマンド名が異なる場合があります。

### アプリのダウンロード

App StoreからScaniverse - 3D Scannerをダウンロードします。

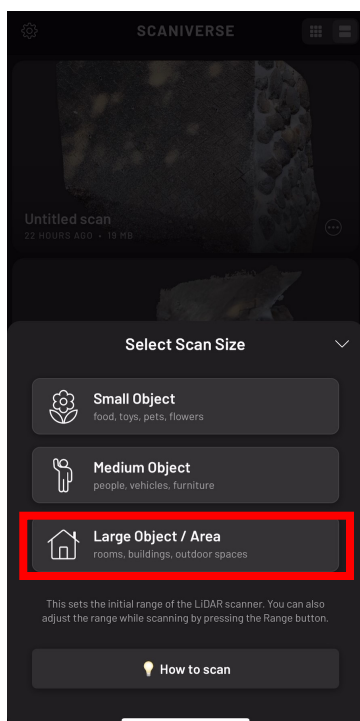


### 計測方法の設定

アプリの計測方法の設定は、下記の設定ができますが、実施例としては、完成形状点群データの計測を想定して、赤字の設定で説明します。

#### ■ SelectScanSize (スキャンサイズ)

- Small Object
- Medium Object
- **Large Object**



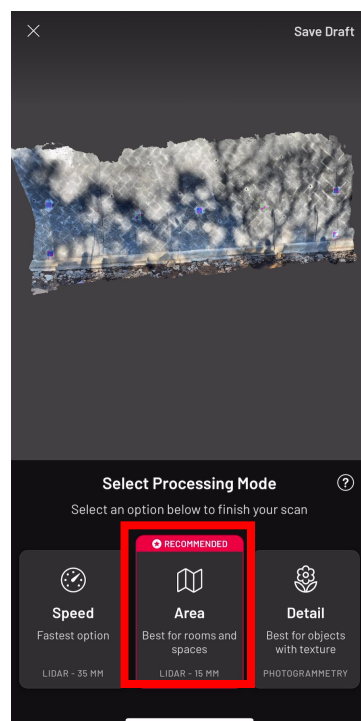
#### ■ Range (計測距離)

0～5m  
(**Large Object** は5m)  
※SelectScanSizeに応じて計測距離が決まります。



#### ■ SelectProcessingMode (処理方法の選択)

- Speed (LiDAR)
- **Area (LiDAR)**
- Detail (フォトグラ)



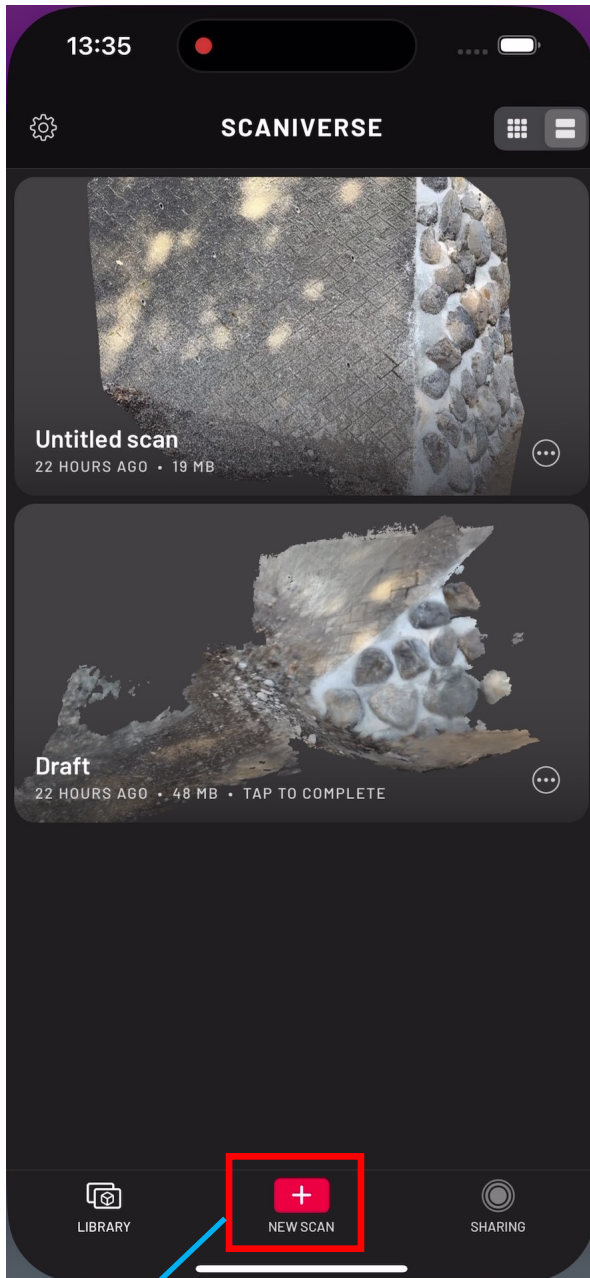
## 使い方

新しいスキャンの開始方法を説明します。

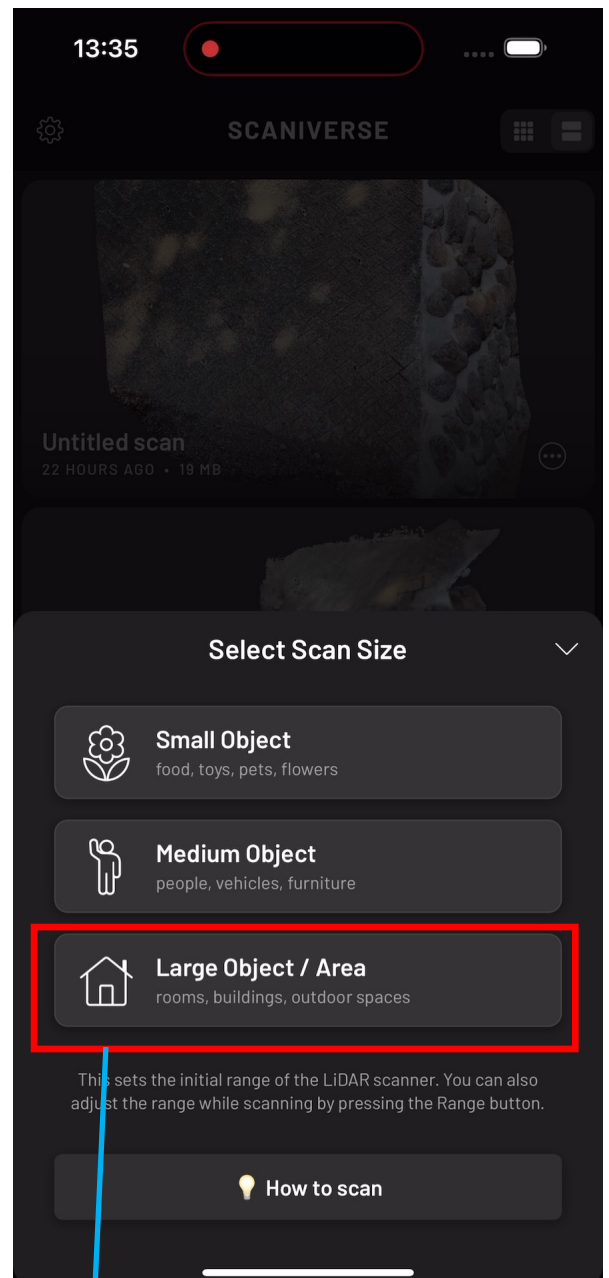
### 1 新しいスキャンの作成とスキャンサイズを選択

①新しいスキャンを作成します。

②スキャンサイズを選択します。  
※スキャンサイズの選択により計測距離が決まります。



「NEWSCAN」をタップし、新しいスキャンを作成します



SelectScanSizeの設定は、「Large Object/Area」をタップします

## 使い方

新しいスキャンの開始方法を説明します。

### 2 スキャンを開始

① スキャンを開始します。

② 移動しながらスキャンします。



「赤い丸ボタン」をタップし、スキャンを開始します



点群データが取得されていると、計測対象が、写真のように表示されます。一方で、赤斜線部分は、点群が取得されていない箇所となりますので、斜線部分をなくすように移動させてください



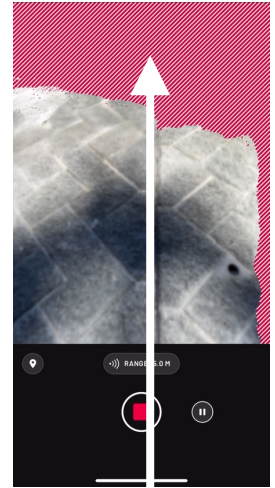
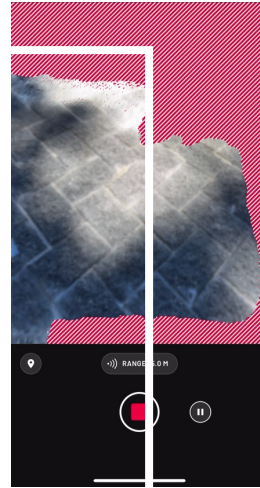
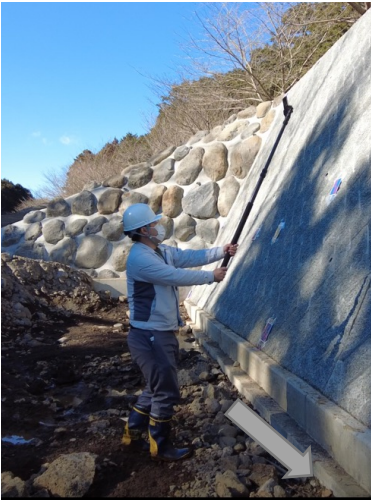
## 使い方

新しいスキャンの開始方法を説明します。

### 参考

スキャンを開始

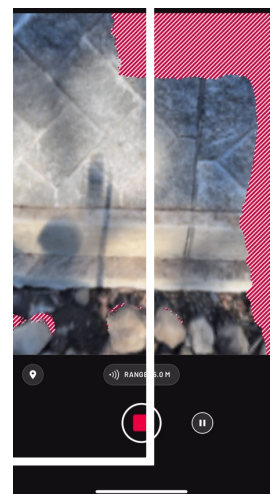
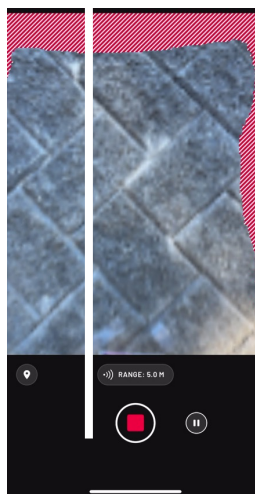
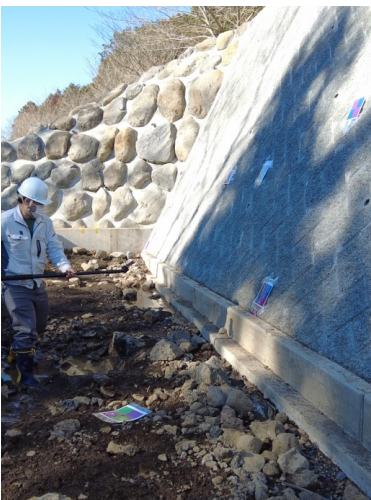
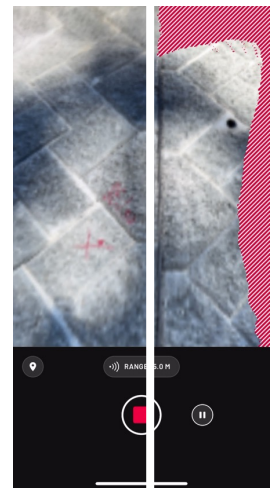
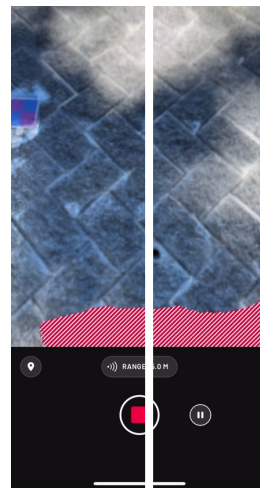
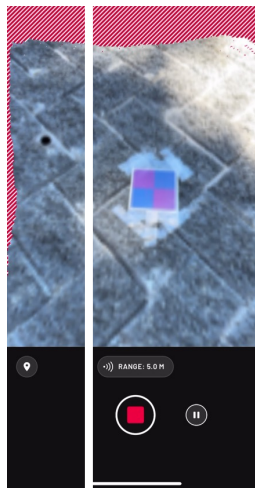
①モバイル端末を一筆書きで移動しながらスキャンします。



②横移動



①移動



※自撮り棒や一脚に取り付けての計測は、あくまで一例となります。



## 使い方

新しいスキヤンの開始方法を説明します。

### 参考

スキヤンを開始

①使用するモバイル端末の性能（計測距離）上、計測範囲を一度に計測できない場合は、分割してスキヤンします。標定点を用いて、点群処理ソフトウェア等で後処理することで、スキヤンデータを統合可能です。ただし、安全に留意して計測することが重要です。



図 計測範囲の分割例

※自撮り棒や一脚に取り付けての計測は、あくまで一例となります。

## 使い方

新しいスキャンの終了方法を説明します。

### 3 スキャンを終了

① スキャンを終了します。



〔赤い四角ボタン〕をタップし、スキャンを終了します



## 使い方

スキャンの処理方法を説明します。

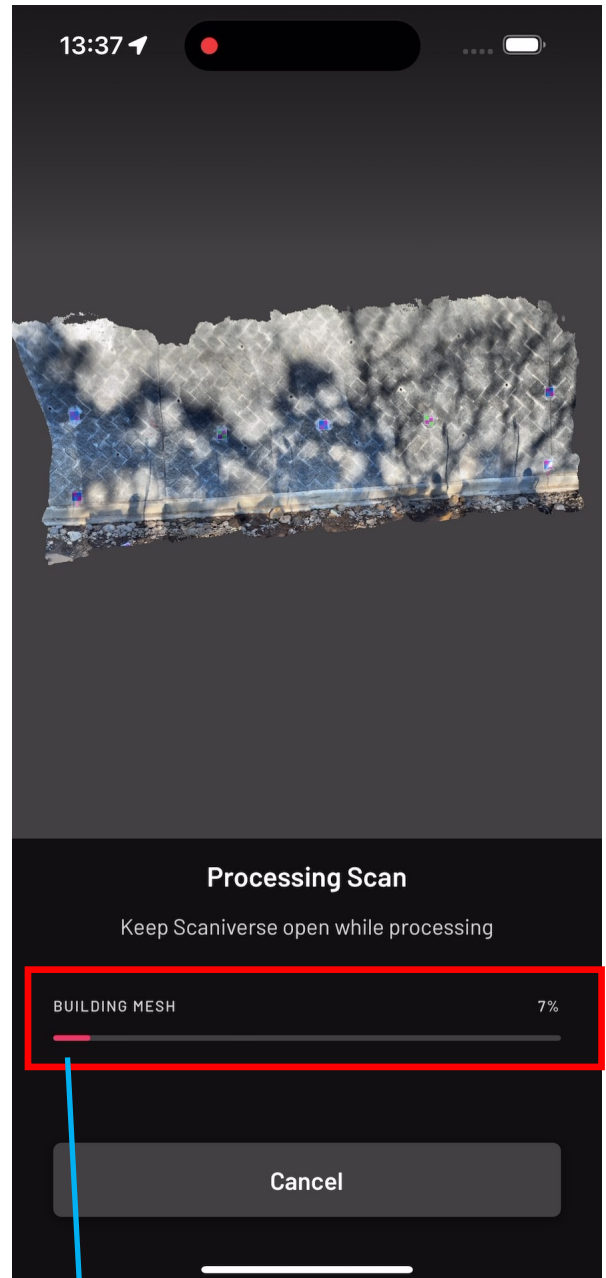
### 4 スキャン結果の処理方法を選択

① スキャン結果の処理方法を選択します。

② スキャン結果の処理方法が終わるまでしばらく待ちます。



「Area」をタップし、処理方法を選択します



ゲージが100%になると処理終了です

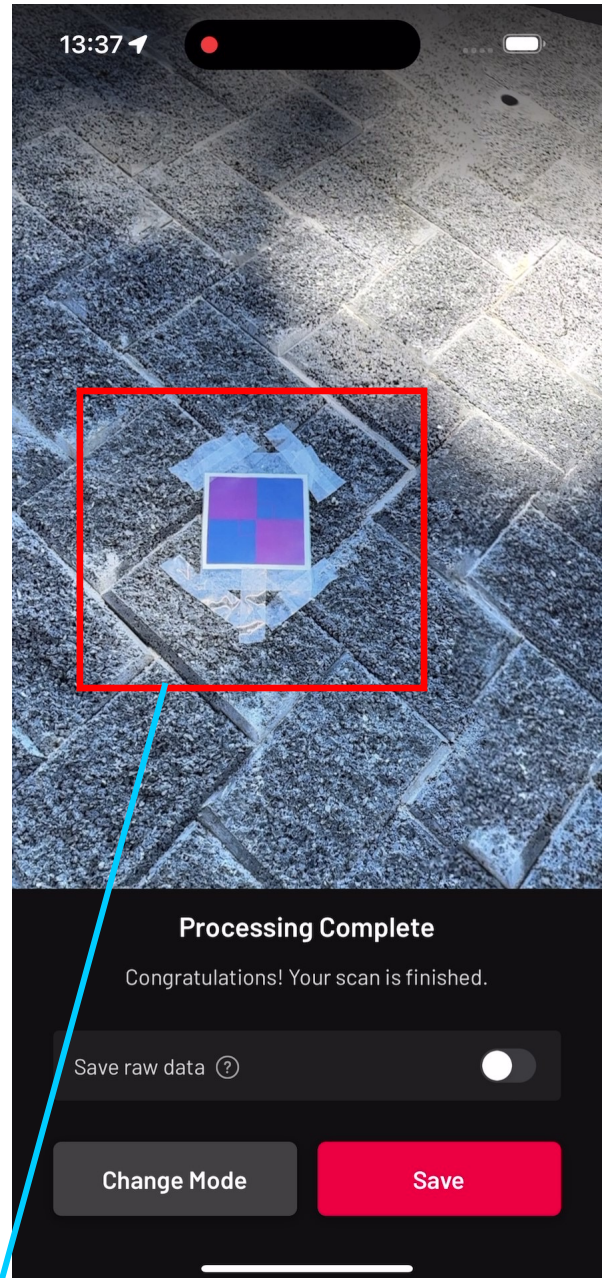
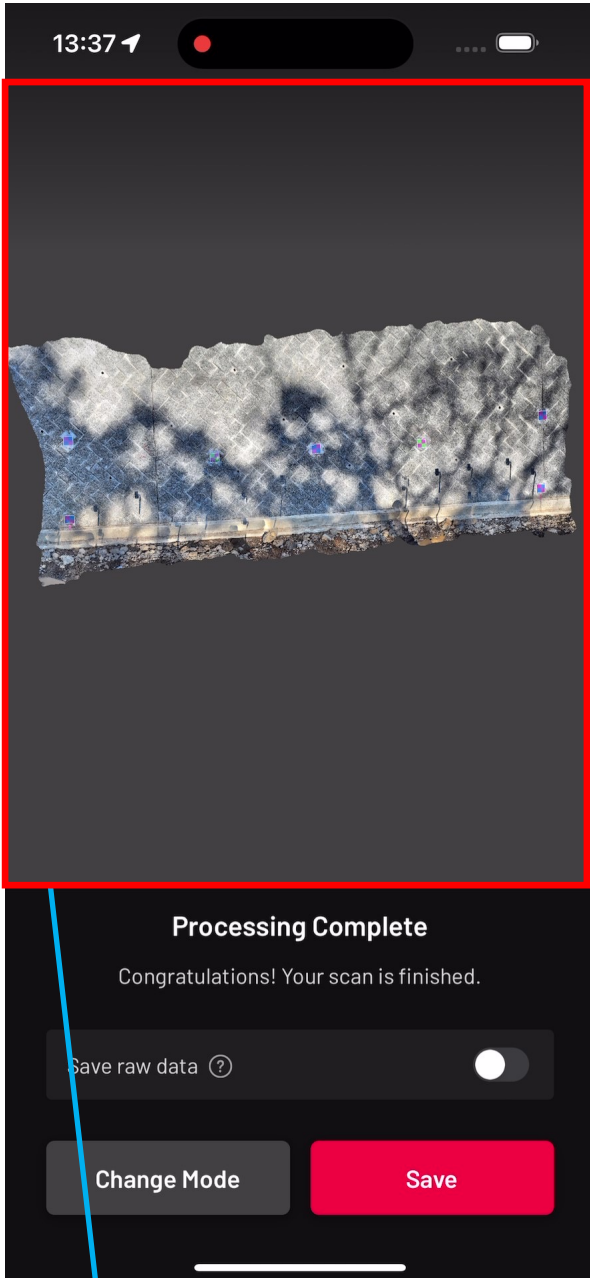
## 使い方

スキャン結果の確認方法を説明します。

### 5 スキャン結果を確認

① スキャン結果を確認します。

② 画面を操作し、様々な視点からスキャン結果を確認します。



画面のスライドや、ピンチ、回転などにより、スキャン結果を確認します



## 使い方

スキャン結果の確認方法を説明します。

### 参考

スキャン結果を確認

① スキャン結果の確認は、スキャン範囲全体その他、特に標定点や計測距離が遠い箇所、変化点のある箇所等のデータが取得されているか確認します。



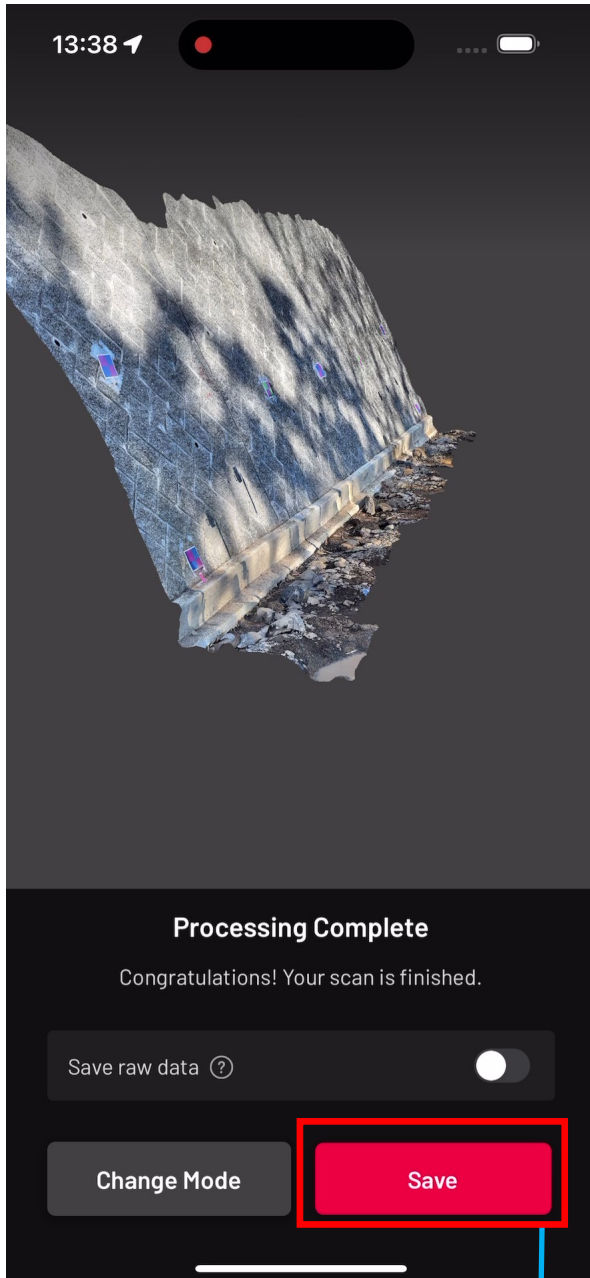
## 使い方

スキャン結果の確認方法を説明します。

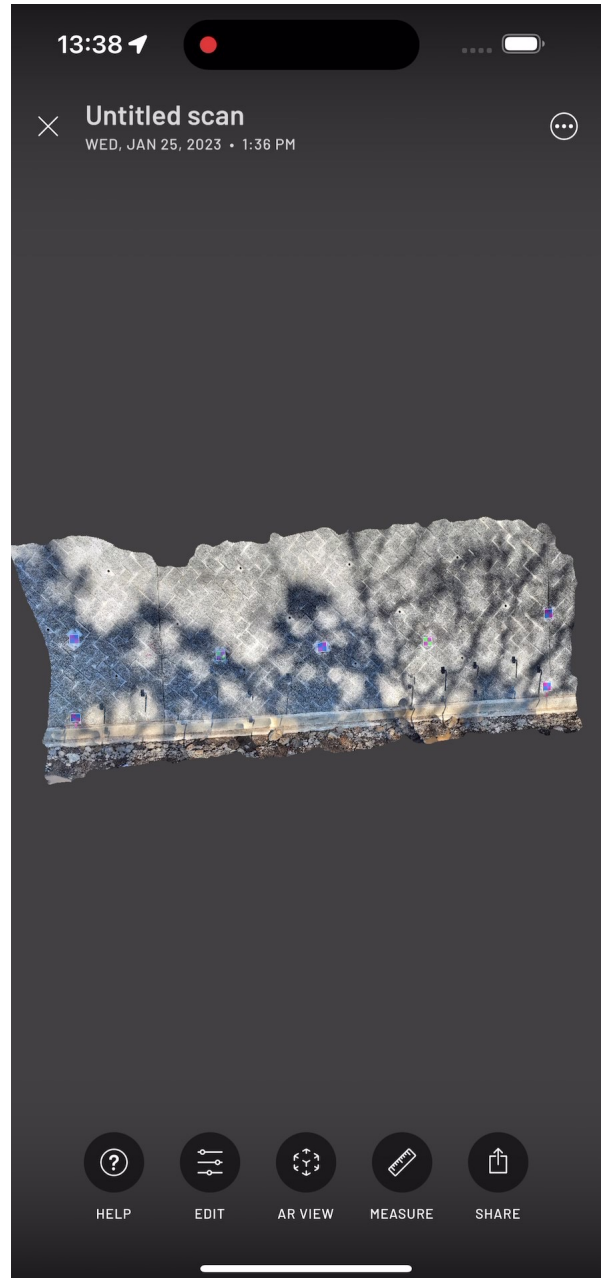
### 6 スキャン結果を保存

① スキャン結果を保存します。

② 保存された点群データが表示されます。



「Save」をタップし、スキャンデータを保存します



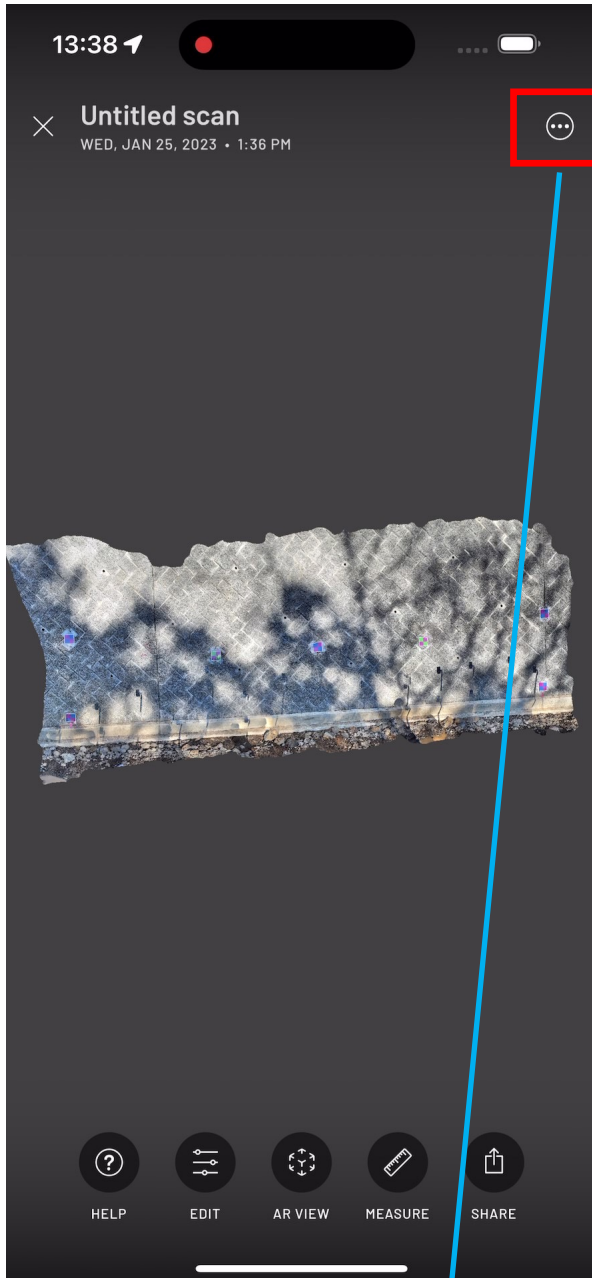


## 使い方

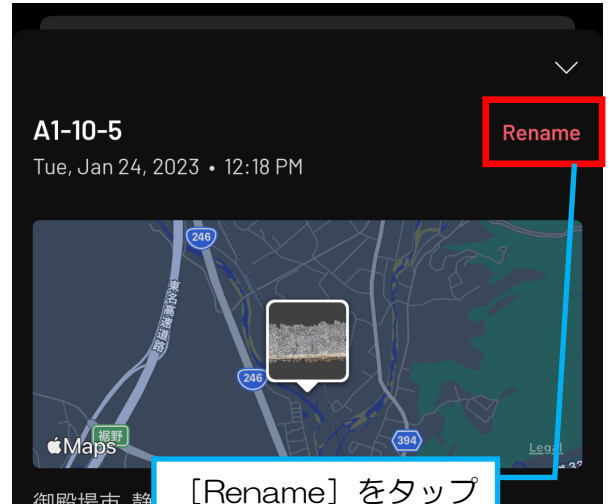
スキャン名の記録方法を説明します。

### 7 スキャン名を入力

① スキャン名を入力します。



[...] をタップし、  
ファイル名を付けます



[Rename] をタップ  
します。



ポイント!

複数のスキャンをする場合は、どの箇所のデータなのか判別しやすいファイル名にすると、後処理等で利用する際に便利です。

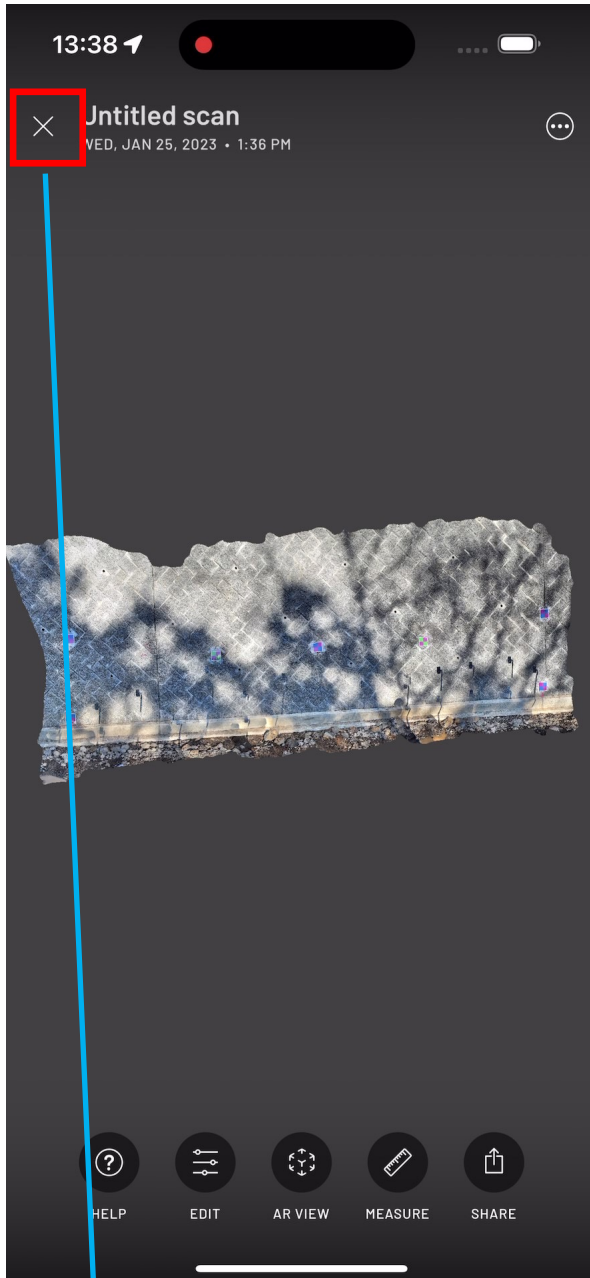
ファイル名を入力し、  
[Save] をタップし、  
ファイル名を付けます

## 使い方

アプリの終了方法を説明します。

### 7 アプリを終了

①アプリを閉じます。複数スキャンする場合は、手順1～7を繰り返します。



〔X〕をタップし、アプリを閉じます